

駅周辺の整備のあり方について

町長 景観の観点も踏まえて検討していく

門田

今年度は新駅周辺の具体的な整備計画の構想を策定する中で、次の点について町長に伺う。

- ①市街地から羊蹄山・ニセコ連峰への眺望を確保するために、高層建築を規制するなど、町並みの景観づくりや建物の高さ、規制などのルールづくりを早急に進める必要があると考えるが、景観対策のルールや高さ制限も含めた景観対策は。

町長

①建物の高さ
を制限する高

度地区の設定が選択肢の一つとなるが、地区範囲や制限する高さ、その前提条件となる羊蹄山を望む視点場と言われる景観を望める立ち位置の設定などの課題を今後の新駅周辺整備構想を整理していく中で景観の観点も十分に踏まえて検討していく。

門田

今年度中にし
っかりルール
づくりも含めて出せるの

町長

駅前が住んで
いる人にとつ
ても観光客が来て、素
晴らしい町並みだなと言
われるような、ルールづ
くりをしていきたい。

観光振興について

門田

本町の外国人
住民数は16

48人。これは2018
年1月時点で1割を超え、
住民税収入においても2

②4月の人事異動により
観光課職員を一人削減し
たのはなぜか。

012年度の8億210
0万円から18%増えて2

③これからの通年観光ビ
ジョンは。

016年度は9億710
0万円になる。観光客の
増加も伴い、さまざまな
波及効果が生まれている
と認識している。

町長

①各年度にお
ける投資的経
費の有無により総額の上
下の動きはあるが、経常
的な歳出は、ほぼ横ばい



門田 淳 議員

③景観ルールや高さ制限
のルール、公共交通の利
用促進や駐車場の確保な

①なぜこのような状況の
中で観光関連予算が減少
傾向にあるのか。



駅前通 (くっちゃんじゃが祭り)

- で推移している。
- ②観光中核施設整備に係る人員を配置することがないためである。
- ③今後整備する観光振興計画において示していかなければならないところであり、年間型国際リゾートとして前進していきたい。
- ④観光産業の持続的発展

により住民の暮らしの質
が上がる好循環を形成す
ることがリゾートに住ん
でいる意識を高めるとい
う認識であり、来年度に
総合計画とリンクして策
定する次期観光振興計画
で観光の経済効果を全町
的に行き渡らせていくこ
とを施策として示してい
く。